

こころに残る景観資源発掘プロジェクト次回テーマについて

	眺望景観	歴史・文化景観
① 概要（募集の理由）	<p>海から山まで連なる本市景観計画において、シンボル又はランドマークに位置づけている岸和田城や神於山などに象徴されるように、市内の地勢やまちなみを特徴づける眺望景観は、まちの魅力を再認識し、新たな価値の創出に期待できる。</p> <p>また、近景では気づかない景観要素を遠景で発掘することで、まちなみと調和した色彩や建物等の意匠への配慮に寄与することが期待される。</p>	<p>市内には、遺跡や古墳、寺社仏閣など各時代を象徴するものや、中世の城下町や街道など、まちの発展とともに地域で育まれた歴史により形成される景観が多く存在している。また、地域で営まれてきた祭りや風習などの文化は、集落の景観を特徴づけ、長く守り継がれてきた価値と魅力が高いものである。</p> <p>このような歴史、文化的な景観を再確認し、次世代に継承していく必要があるため、本プロジェクトを実施するものである。</p>
② イメージ写真 （募集時にポスター等で使用）		
③ 審査の対象となる景観資源 （実施要領第5条関係）	<p>まちなみやランドマークとの連続性が感じられるもの</p> <p>山並みや海岸線など自然地形との関連性が感じられるもの</p> <p>まちの成り立ちや、遠景によるまちの広がりを感じられるもの</p> <p>地域を特徴づけるまたは個性が感じられるもの</p>	<p>歴史や伝統を感じさせ、魅力が感じられるもの</p> <p>歴史文化を保全しながらも活用し、賑わいや親しみを感じられるもの</p> <p>人々のこころに残る思い出の場所となっているもの</p> <p>昔から変わらない人々の営みや四季折々の趣が感じられるもの</p>
④ 景観上の視点と評価項目 （実施要領第7条関係）	<p>まちなみを象徴するランドマークとの連続性や調和が感じられる</p> <p>地勢やまちの成り立ち、変化が感じられる</p> <p>地形地物との関わりや人々の営みが感じられる</p> <p>まちの魅力や特性が感じられる</p>	<p>住民の歴史・文化の保全活動への意識を高めている</p> <p>地域の歴史や文化などの風情が感じられる</p> <p>昔から変わらない、懐かしさや故郷が感じられる</p> <p>郷土への哀愁が感じられる</p>
⑤ 景観施策において 期待される効果	<p>まちなみのシンボルなどを明確にし、眺望景観に対する配慮への啓発</p> <p>まちなみとの調和や、わがまちへの愛着と調和の創出</p> <p>自然と共存してきたまちづくりへの継承</p>	<p>埋もれていた記憶の発掘と継承</p> <p>歴史、文化、ふるさとなど、多面的な広がり</p>
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・まちなみ：7位(22.3%) (H30 まちかど審査におけるアンケートで上位) ・対象エリアや対象物件が限定されてしまう恐れ ・景観資源として評価する基準に懸念 	<ul style="list-style-type: none"> ・お城や寺社仏閣：2位(49.6%)、歴史：3位(39.5%) (H30 まちかど審査におけるアンケートで上位) ・対象エリアが限定されてしまう恐れ ・建造物単体となってしまふ恐れ